

## 第8回江南市市民協働・市民活動推進協議会 会議要旨

会議名：第8回江南市市民協働・市民活動推進協議会

開催日時：平成29年2月13日（月） 午後2時～午後3時

開催場所：江南市地域情報センター1階 多目的活動室

委員：出席委員

宇野 和明（学識経験者）

柴田 熙（公募市民）

齋藤 雅治（市民活動団体関係者）

新 英子（市民活動団体関係者）

早瀬 裕子（市民活動団体関係者）

水野 裕子（市民活動団体関係者）

伊藤 光洋（江南市社会福祉協議会職員）

坪内 俊宣（市職員）

事務局：片野 富男（市長政策室長）

浅野 武道（地方創生推進課地域協働グループリーダー）

加納 康陽（地方創生推進課地域協働グループ）

資料1 地域まちづくりフォーラム チラシ

資料2 江南市地域まちづくり補助事業 採択事業一覧

資料3 江南市地域まちづくり補助事業申請書等について

資料4 江南市地域まちづくり補助事業募集要領より補助の対象となる経費 抜粋

資料5 申請事業収支予算書

議題	1、江南市地域まちづくり補助事業について
	2、市民・協働ステーションについて
	3、その他

### 市長政策室長挨拶

日頃は大変ご協力をいただきましてありがとうございます。先日も地域まちづくり補助事業公開審査会ということでお休みの中ご協力をいただきました。また、本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。本日も議題をいくつか用意させていただいておりますので、委員の皆さんの貴重なご意見をお伺いしたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

## 宇野会長挨拶

お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。今回で第8回ということで、この協議会も8回を数えていますが、今年度は今回で最後になるかと思えます。先日の地域まちづくり補助事業公開審査会では、長時間にわたる審査をいただきました。その補助事業について収支予算書のフォーマットの見直しの検討ということで、協議をいただきたいと思います。また、市民・協働ステーションについても協議事項があるようですので、よろしく願います。

### 1. 江南市地域まちづくり補助事業について

○委託団体のコミュネット江南の齋藤委員より地域まちづくりフォーラムについて説明がありました。

委員	昨年度までは、公開報告会と講演会という流れで行っていましたが、今年度は、団体数も多いこともあり、報告が終わった後、実際に事業を実施されている方同士の意見交換会の場を作って、お互いにアイデアを出し合い、来年度に向かって活動していくヒントがたくさん得られるようにしていきたいと考えています。 まちづくりの活動を仕事にされている方にゲストとして来ていただいて、公開報告会から意見交換会まで通しで、ファシリテーターをお願いします。 公開報告会から続きで地域まちづくりフォーラム入っていきますので、ご協力をお願いします。
----	---

○事務局より平成29年度地域まちづくり補助事業の採択事業について説明がありました。

○事務局より江南市地域まちづくり補助事業申請書等について説明がありました。

会長	事前調査では事業収支予算書等について変えたほうがいいというご意見が多かったということでしょうか。
事務局	改善できるのではないかとご意見をいただきました。
会長	事業収支予算書等を変更するかどうかをまず協議したいと思います。 私の意見としては、前回の推進協議会でも議論を尽くしましたので、変更は必要ないと思います。これ以上簡素化すると申請しやすくなる反面、質が低下して審査が大変になるのではないかと、あ

	<p>る程度、申請時にどんなものに使うのかが分かっているほうが審査しやすいと思います。審査の時に補助金は何に使いますかと聞いて、赤字補填やほとんど景品に使いますと言われてもどうかと思います。</p>
委員	<p>行政事業レビューで申請書の簡素化が必要であるという意見があったというのはお伺いしていますが、私個人としては、今年度対象経費についてかなり簡素化されたかなという印象があります。一方では出しにくい、分かりづらいという意見があることも伺っています。</p>
事務局	<p>行政事業レビューを受けまして申請書を簡素化するようにとご意見をいただいております。現状のやり方では、単価に個数をかけて積算していますが、鉛筆1本から積算するのはどうかという意見がありました。北名古屋市の書式ではそこまで細かく積算を求めているということもあり、簡素化するべきかどうかをご審議いただきたいと思います。</p>
委員	<p>申請時に積算根拠を求めていなくても、審査時に聞くことになってしまうと思う。</p>
委員	<p>内訳・積算の根拠については、審査会で積算根拠についての質問だけで時間がなくなってしまうので、相談会でも細かく書きましようとして指導している。</p>
事務局	<p>実際の執行に当たっては、単価や数量が変わることはあるので、それは問題ではありませんが、予算の積算に至る根拠を明確にして、いくらが必要であるということを公開する意味では必要であると思います。一方では消耗品としてまとめて1万円にしてはどうかという意見が行政事業レビューの意見としてありました。</p> <p>先程、ご説明しましたとおり、来年度事業として採択された団体の皆さんに申請書について書きづらい箇所や難しかった箇所の聞き取り調査を行います。</p> <p>書きづらかったからといって必要な項目を無くすというわけではなく、相談でアドバイスをするポイントとして浮かび上がってくるので、整理していきたいと考えています。</p>
委員	<p>民間の助成金や国の助成金の申請はもっと厳しい。これでも十分に簡素化されていると思います。</p>
委員	<p>報償費として、参加者への景品を入れるのは議論の余地があると思います。</p>

委員	<p>その他の事業収入がプラスになっても繰り越せるような仕組みというのは、申請団体としてはありがたいと思いますが、現在の予算書の計算式では、収入が増えると補助対象額が下がって、自己資金が増えるようになっている。</p> <p>想定よりも参加者が多くなって、参加費が多く集まったときには、補助金を返金しなくてはならなくなる。</p>
会長	<p>収入がプラスになった場合は、返金するのが前提なのでしょうか。</p>
事務局	<p>あくまで補助金であるので、事業費の足りない部分に対して補助をしているものであり、収入が増えれば、補助金からその分返金していただくこととなります。</p>
委員	<p>北名古屋市の様式がいいという意見がいくつか出ていたが、全体の事業費の内訳はあるが、補助対象経費の内訳がないため、審査する側からすると大変になると思う。</p>
委員	<p>北名古屋市の様式では、申請者は書きやすいかもしれないが、審査する側は対象経費の内訳が分からないと積算が正しいのか分からない。</p>
委員	<p>食糧費として毎回打合せに飲み物代を出すというのは、ボランティアの考え方からするとおかしいと思う。</p>
委員	<p>催しの際に参加者にお茶を配るとなるとある程度の額になるので、それを見てもらえるとありがたいとは思いますが。</p>
事務局	<p>食糧費については、以前から議論があり、お茶を出すことがいけないわけではないので、補助対象とするかどうかということになります。</p>
委員	<p>参加者が多いと大変だなと思います。</p>
委員	<p>申請書を見ているとペットボトル 160 円×参加者数のようにきちんと記載しているところが多いが、飲み物代ならいくらでも積算していいということではないと思うので、1人あたりの金額の基準を決めるのはどうか。</p> <p>今、決めなくても申請のときにどうするかを決めればよいと思います。</p>
会長	<p>事業収支予算書については、項目の変更はないということでもよろしいでしょうか。</p>
<p>出席委員一同より了承されました。</p>	

会長	景品についての取扱いをどうするかですが、補助対象外で記念品等の購入代金がありますが、どうしますか。
事務局	過去には事業の記念に写真を作ったりしたところは対象外としたという経緯があります。 報償費については、審査会でもご意見がありましたので、参加者への景品についてはご意見をお伺いしたいと思います。
委員	団体には事業に来た人に何か渡したいという意識がすごく強いと感じる。
委員	何か渡さないと人が来ないという考えがある。物を渡すことで来てもらうのではなく、事業の内容で来てもらうというのが正しいとは思いますが、内容がありきたりのものであると景品をつけて人を集めたいという気持ちは分かる。
会長	会場費や委託料に補助金を使うのはいいと思うが、参加者への景品となると意図が違うと思う。 参加者への景品購入費については、対象外経費とするということではよろしいでしょうか。
出席委員一同より了承されました。	
委員	江南市の「事業計画書の背景と目的」にあたるところについて、岩倉市では「問題意識と目指すビジョン」という表現になっていて、やわらかい表現で分かりやすいのかと思うので、次回の協議会で相談できればと思っています。
委員	背景については、どこかから聞いてきた曖昧な「～らしい。」という情報をもとに申請書を作られる団体もあるが、市が出している統計や具体的な調査結果等をもとにして書いてもらえると市（地縁団体）が直面している課題について分かりやすくなると思います。
会長	申請される団体には、資料から引用して根拠を示すことをやったことがない方たちばかりだと思うので、相談の中でトレーニングが必要かもしれない。
委員	相談を受けると「背景」はものすごく抽象的で、事業になると急に具体的になる。団体が抱えている背景となると「日本では…」というような大きな背景になってしまうので、実際の事業とかけ離れているイメージがあるので、「背景」というより団体の問題意識というほうが分かりやすいと思います。
事務局	採択団体にも聞き取りをした上で、事業計画書についても次回の

	協議事項としたいと思います。
--	----------------

## 2. 市民・協働ステーションについて

- 事務局より市民・協働ステーションの今後について説明がありました。

会長	印刷機を使用すると会議が進まないの、カーテンなどで仕切れるようにすれば防音効果があったかもしれない。
事務局	平成 30 年 3 月以降は、市民・協働ステーションは多目的活動室のみになりますので、稼働率が上がると思いますが、譲り合っご利用いただきたいと思います。

## 3. その他

- 事務局より来年度の協議事項について説明がありました。
- 事務局より次回の協議会の開催時期について説明がありました。

事務局	市民活動センターの運営、NPO・ボランティア団体への支援のあり方について、研究していきたいと考えておりますので、参考となる事例がありましたら教えていただきたいと思います。次回は平成 29 年 5 月に開催を予定しております。
-----	--



近くの他人の大切さ～

# 地域まちづくりフォーラム

～江南を、もっと住み良くするために！～

入場無料

≪日時≫ 平成 29 年 3 月 18 日 (土) 午後 1 時～4 時 (予定)

≪場所≫ 市民・協働ステーション (地域情報センター2 階)

「みんながつながり、支えあう」そんな 地域づくりを考えるフォーラムを開催します。

## ★「地域まちづくり補助事業」公開報告会

江南市では、「地域のつながり」をつくり、地域の力を高める事業に補助金を交付する制度「地域まちづくり補助金」を整備し、地域のつながり作りを推進しています。平成 28 年度は以下の 8 つの事業が市内各地で行われました。その事業の成果 (実施結果) を市民のみなさんに報告し、市民協働と市民活動によるまちづくりを考えます。

### ①野良猫意識改革

(地元・行政・ボランティア団体による三位一体の意識改革)

### ②生演奏を身近に感じて楽しもう

### ③カローリング体験教室とカローリング大会

### ④平成 28 年度町内別対抗運動会

### ⑤地域の未来は子育て支援で

### ⑥ふれあいほっとサロン

～子育てサークルを中心につなごう～

### ⑦親子で正しい歯磨き習慣を身につけよう

### ⑧繋がれ！ひろがれ！親子の happy spot

昨年のように



## ★「地域まちづくりフォーラム」

ご来場のみなさんで、いくつかのグループに分かれ、応援メッセージを送り合ったり意見交換を行います。

いろんな視点から様々な応援の言葉や意見をもらうことで、今後の各活動の充実・継続・発展につながるヒントをひとつでも多く得る機会にします。

\*\*\*\*\*

全体ファシリテータ：NPO 法人まちの縁側育み隊 理事 名畑恵さん  
略歴：愛知県春日井市生まれ。まちの縁側育み隊のスタッフとして、中部圏を中心に各地のまち育て活動のサポートを行う。  
また、まちづくりファシリテータなど講師としても全国的に活動している。



## 《プログラム》



### ◆ **開 会** (午後1時)

※全体ファシリテータ：名畑 恵さん (NPO 法人まちの縁側育み隊 理事)

### ◆ **江南市地域まちづくり補助事業 成果報告** (事業実施団体からの報告)

- ① **野良猫意識改革(地元・行政・ボランティア団体による三位一体の意識改革)** (こうなん地域猫の会)  
命の大切さを学ぶ機会をつくり、地域住民が野良猫に対する意識を変え、地域で愛される一代限りの地域猫となるべく避妊、去勢を行い、暖かい目で見守ることにより一匹でも不幸な猫を減らし、人と動物が快適に共存できるまちづくりを実施しました。
- ② **生演奏を身近に感じて楽しもう(フェリーチェ)**  
未就学児に生演奏や音楽付きで絵本を読むことにより、情緒豊かな感情と好奇心を養うことを目指しました。
- ③ **カラーリング体験教室とカラーリング大会(草井を元気にする会)**  
子どもから高齢者まで楽しめるカラーリングを通じて地域間で交流が深まり、つながりが広がることにより、地域の連帯感を高めることを目的としました。
- ④ **平成 28 年度 町内対抗運動会(親和会)**  
近年、同じ町内同士の人でも交流の機会が減少しているため、町内会で交流の図れるイベントを実施し、町内の団結心を高めると共に、近隣町内とも交流が図れる場を提供することを目指しました。
- ⑤ **“地域の未来は子育て支援で”(江南市女性連絡協議会)**  
3歳未満の子どもを持つ親子を中心に講座や交流会を開催し、実生活の中で役立つ情報を提供していき、同世代の仲間と助け合いながら自立し、地域に役立つ人材へと育てていくことを目指しました。
- ⑥ **ふれあいほっとサロン～子育てサークルを中心につなごう～(飛高親の会)**  
子育て中の親が孤立しないようにサロンを開き、交流の場を、設けた。情報交換や悩みを共有することでお互いに学びあうことを目指しました。
- ⑦ **親子で正しい歯磨き習慣を身につけよう(特定非営利活動法人 わいわいわい)**  
正しい歯についての知識を身につけてもらい、歯磨きの重要性和正しい歯磨きの方法を講習会を通じて伝えるもので、歯と口腔の健康から子どもの健全育成を支援することを目指しました。
- ⑧ **繋がれ！ひろがれ！親子の happy spot (特定非営利活動法人 子どもと文化の森)**  
子育てファミリーを対象にイベントを開催することで団体が集い繋がり新たな子育て支援の輪を構築しながら事業を進めました。さらに江南市の子育て支援の充実を目指しました。

※概ね、報告10分、質疑・応答5分で進めます。また、参加者の皆様には、メッセージカードに実施団体あてのねぎらいの言葉をお願いします。メッセージカードの内容は、後日、実施団体にお伝えするとともに、市ホームページでも公開し、多くの方々と共有できるようにします。

### ◆ **まちづくりフォーラム** (午後3時)

参加者の皆様には、報告団体や来年度に事業を行う団体の方々といっしょに5人ずつのグループになって、お互いの活動について意見交換をしながら、励ましあったり、事業の継続・発展に必要なことは何か！？などをみんなで考えます。



# 申込み不要。当日、直接会場にお越しください！ 皆さまのお越しを心よりお待ちしております！！

問合せ **江南市役所 地方創生推進課**

TEL 54-1111 (内線 323) FAX 54-0800  
E-mail kyodo@city.konan.lg.jp





# 江南市 地域まちづくり補助事業 採択事業一覧

江南市は、地域で活動する団体などが工夫を凝らして取り組む、地域をよくしていこうという事業に対して「江南市地域まちづくり補助金」を交付しています。

平成29年度に実施事業として採択された「地域まちづくり補助事業」を紹介します。

\*は代表団体です。

平成29年度 10事業

<p>親子で正しい歯磨き習慣を身につけよう</p>	<p>*NPO 法人 わいわいわい 池田歯科医院</p>	<p>正しい歯についての知識を身につけてもらい、歯磨きの重要性と正しい歯磨きの方法を講演会を通じて伝えることで、子供の頃から歯と口腔の健康を保つ。 また、歯磨きを通じて親子のスキンシップを図るとともに、ネグレクト（虐待）の予防につなげる。</p>
<p>親子の happy spot ～子どもの育ち親の育ちを支える支援の輪～</p>	<p>*NPO 法人 子供と文化の森 NPO 法人 のいちご 江南子育て探検隊(ここたん)</p>	<p>親子リズム遊びや人形劇、様々な遊びのコーナーを通じて体験型のイベントに併せて子育てに役立つ子育ての応援になる講座を行う。 市内の中学生に対し、自他の命を大切にすることや自尊感情が持てるように働きかけ、乳幼児とのふれあい事業を行う。事業を通じて子の育ち、親の育ち、生命の慈しむ気持ちの育ちをサポートしていく。</p>
<p>高齢者の問題 (認知症について) 地域で考え、地域で支えよう</p>	<p>*江南地域のSOSネットワーク LRパートナーズ</p>	<p>認知症サポーターと一緒に認知症を知り、地域で支えるために認知症サポーター養成講座を開催する。 住み慣れた地域での生活が続けられるよう、高齢者を地域ぐるみで見守るネットワークを作る。</p>
<p>地域の未来は子育て支援で</p>	<p>江南市女性連絡協議会</p>	<p>子育て中の親子にも楽しんで参加でき、生活に役立つ子育て支援セミナーを開催する。さらに、新たな子育て支援の仲間づくりを促し、子育ての不安や悩みを仲間と助け合いながら解決できる次世代の子育て支援グループへ成長するよう支援していく。</p>

平成 29 年度 町内対抗運動会	親和会	同じ町内でも交流の機会が減少している中、町内会毎の懇親・交流のイベントとして運動会を実施し、町内の団結心を育成する。さらに、幅広く地域住民に参加を求め、近隣町内とも交流を図る。
カローリング体験教室と カローリング大会	草井を元気にする会	子どもから高齢者までだれでも楽しめるカローリングを広く知っていただけるよう、カローリング体験教室、投球練習会、カローリング大会を行い、多世代の人が交流することで、地域の活性化につなげ、高齢者の健康維持も図る。
気軽につながるいきいき サロン～生演奏を楽しもう～	フェリーチェ	懐かしい歌を歌ったり、一緒に体を動かしたりすることで、ストレス解消、健康維持になり、また脳が活性化することによって、認知症ケアや認知予防にも繋がる。地域の拠点となるふれあいサロンで、開催することにより、地域の方々の交流を図る。
野良猫意識改革 (地元・行政・ボランティア団 体による三位一体の意識改革) 第二期	こうなん地域猫の会	命の大切さを学ぶ機会をつくり、地域住民が野良猫に対する意識を変え、地域で愛される一代限りの地域猫となるべく避妊、去勢を行い、暖かい目で見守ることにより一匹でも不幸な猫を減らし、人と動物が快適に共存できるまちづくりを実施する。
江南市を活性化する リーダー育成事業	江南市ジュニアボランティアクラブ (KJVC)	中高生を対象に地域で貢献できるジュニアリーダーとなるように研修会や勉強会を実施し、子ども達自身に主体性を持たせ、事業を展開していくことで、将来、地域を引っ張っていけるような人材を育成する。
講師派遣型介護予防教室	宮後第一これから会老人クラブ	運動と頭の体操を取り入れた介護予防教室の開催により、高齢者の健康増進、認知症予防を行う。老人クラブに加入していない高齢者にも働きかけ、地域のつながりの強化を図る。身近な場所（公会堂）で仲間と楽しく行うことで長続きする。将来的には講師を養成し、自立した教室の開催を目指す。

# 江南市地域まちづくり補助事業申請書等について

## 1. 申請事業収支予算書の記入方法について

### 経費の項目

- ・ 北名古屋市の予算書のように、支出を予算額のうち補助対象経費と並べて記載すると、予算のうちのどれだけを補助対象としているかわかりやすいと思います。また、同じ項目で補助対象経費と対象外経費があった場合、二度書く手間も省けます。
- ・ 北名古屋市のフォームがより具体的に補助資金の使用用途が分かりやすく良いと思いました。
- ・ 食糧費について、本番行事のための事前の打合せ会議（数回）の必要経費として毎回飲食するのは、ボランティア活動としてはおかしいのではないのでしょうか。公費としては該当しないと思います。
- ・ 報償費について、景品や記念品のような参加者に配るものは除いたほうがいいのではないかと。また、全予算の何%以内と決めてはどうか。講師料や備品購入費も同様に何%以内と決めてはどうか。

### 内訳・積算根拠

- ・ 報償費について、上部団体、組織への単なる上納金、会費なのか、講師等への実地指導の経費、謝礼なのかをはっきり区別できないのでしょうか。

### 収入

- ・ 単年度予算にて「不足しているものに対する補助」という前提があった上、また、事業収支について継続性を審査において判断する材料とするか否かは別議論とし、補助事業終了までに何らかの形で収入を生んでいこうとする考え方を阻害しないような予算収入の計上が出来ないかと思っています。

## 2. その他

- ・ 予算は単年であっても、事業の継続性を求めていくのであれば、極論かとは思いますが、事業収入に結果、万が一プラスになったとしても繰り越せるような仕組みが書面に読めればと思います。
- ・ 今の様式では、予算終了後の予算確保の方法がよく見えてこないのが、現状ではないのでしょうか。
- ・ できるだけ多くの団体に補助金を出せるようにしたい。そのために、必要でないと思われるものはカットして、申請額を減額して補助することは出来ないのでしょうか。
- ・ 市内の活動に対して公平に予算が使われる事が必要なためとはいうものの、一部の地域からでも事業が発生しなければ、市内全域の事業になっていかないという事実はあると思います。一つの団体でのキャパにも限りがあるかと思っています。3年で拡大まで進めることができるのかという疑問が残ります。
- ・ 連携コースの更なる使い方も検討し、補助事業を通じ、事業が成り立つきっかけが出来、継続する方法まで考えていける仕組みや拠点の整備が必要ではないのでしょうか
- ・ 変更すべき項目等はない。

## ◆補助の対象となる経費

### 補助対象経費及び補助対象外経費

	補助対象経費	補助対象外経費
(1) 報償費	団体構成員以外の講師、専門家、出演者等への報償、謝礼 ただし、団体構成員であっても、他団体から派遣され講師等をする場合は、対象とする。	・商品券等の金券の購入代金 ・記念品等の購入経費
(2) 交通費	講師との打合せなどの交通費等 (公共交通機関かタクシーなど領収書が発行される交通手段)	旅行を目的としたイベントの旅費 ガソリン代
(3) 印刷費	チラシ、ポスター、報告書等の作成費や印刷費	
(4) 消耗品費	材料、消耗品等の購入費 ※1品あたり1万円以上は物品費。	
(5) 物品費	1品あたり3万円を超えないもの。 ただし、1万円未満のものは、消耗品費として計上してください。	
(6) 通信料	郵便料、運搬料	電話代、FAX代
(7) 保険料	ボランティア活動保険の保険料など	火災保険、地震保険など、家屋にかかる保険料
(8) 委託料	専門知識、技術を要する業務など、事業の一部を外部に委託した費用	
(9) 使用料、賃借料	会場等の使用料、機器類の貸借(レンタル)料等	家賃(敷金、礼金を含む)
(10) 食糧費	会議や催しの際に最低限必要な飲み物	食事、アルコール類

※その他(事業実施のために必要な経費で、市長が認めたもの)が必要になった場合には、随時、設けることとする。

### その他の補助対象外経費

土地の取得、造成、補償に関する経費

団体の経常的な運営に関する経費(事務局経費など)

領収書等により支払ったことを明確にすることができない経費

その他事業実施に直接関係のない経費、市長が社会通念上適切でないとした経費等

### 参加者の費用負担について

〇〇づくり講座などで、参加者から材料費などとして参加料を取ることが適当な場合は、「この事業による収入」として計上してください。

# 申請事業収支予算書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

事業名	
-----	--

## 【支出】

(単位：円)

項目		予算額	内訳・積算根拠
補助対象経費	報償費		
	交通費		
	印刷費		
	消耗品費		
	物品費		
	通信料		
	保険料		
	委託料		
	使用料、賃借料		
	食糧費		
	合計 <b>A</b>		
対象外経費			
	合計		
合計			= 「事業費総額」

## 【収入】

(単位：円)

項目	予算額	内訳・積算根拠
この事業による収入 <b>B</b>		
地域まちづくり補助金 <b>C</b>		
自己資金 <b>D</b>		
合計		= 「事業費総額」

※ **C**、**D** は、下記計算式により算出します。

補助対象経費合計 <b>A</b>	この事業による収入 <b>B</b>	補助率 (8 か 9)	地域まちづくり補助金 <b>C</b>
(	—	) ×	/10 =
(1,000 円未満切捨て)			

「事業費総額」	この事業による収入 <b>B</b>	地域まちづくり補助金 <b>C</b>	自己資金 <b>D</b>
	—	—	=